

ほけんだより No.8

性(心・体)に関する指導に取り組んできました!

2年生・学活「多様な性について考えよう」



2年生では、学活の時間を使い、担任と養護教諭の T.T (ティームティーチング) で 2 年生性に関する指導を実施しました。

L(レズビアン)女性で女性を好きになる人、
G(ゲイ)男性で男性を好きになる人、
B (バイセクシャル) 異性も同性も好きになる人、
T(トランスジェンダー)心と体の性が一致せず違和感を抱えている人、など性の在り方は様々です。

20人に1人はLGBTの人がいる
とされています。

生徒の感想より

男性・女性を赤と青の二色だけではなく、性は多様でグラデーションなんだと分かりました。違った色があり、それを尊重していききたいと思いました。そんな人がいたら、相談に乗れるようになりたいです。

今までは、LGBTのことについて気持ち悪いとか思っていたけれど、今回、学習をして、理解ができました。LGBTの人が身近にいないのではなく、そのことが言えずにいることが分かりました。相手の気持ちを考えて、自分の気持ちを見つめ直していきたいと思いました。

LGBTについて理解できた、応援していきたいと思えた人は、好きな色の★を好きな場所に貼り、学年全体でレインボーフラッグを作りました。

「もしも、LGBTであることを友達から告白されたら何と言う？」
という設定でロールプレイしました。

実はセクシャルマイノリティなんだ。と先生がカミングアウト役をしました。

言いづらいことを話してくれてありがとう。君は君だよ。これからもよろしくね。生徒がカミングアウトを受けて答える役をしました。



2年生:性に関する教育講演会「性暴力の被害者にも加害者にもならないために」



感染症が流行していたので、リモート配信で講演会を実施しました。みなさん真剣に聴いていましたね！

くまもと被害者支援センター「ゆあさいどくまもと」の出前講座を受講しました。人と人には境界線があり、それを超えるときは相手の同意がいること、性の境界線を破ることが性暴力です。「対等であること」「どちらもOKであること」「断ることが安全にできること」「行為の結果について理解できていること」が「真の同意」です。「嫌だといわなかったから・・・抵抗しなかったから・・・」これは同意ではありません。

被害に遭った時は、①安全な場所へ移動する②できるだけ早く信頼できる人、警察や支援センターへ相談する。③妊娠の心配があるときやけがをしているときは病院に行く④証拠になるものをおく⑤相手からの連絡には返信しないことが大切です。被害者は何も悪くありません。自分を責めないでくださいね。



3年生:性に関する教育講演会「未来あるきみたちへ伝えたいこと」

慈恵病院 助産師 大山由香さん



生徒の感想より

2023/09/28 14:00

私が今生きていることは本当にすごいことで奇跡なんだと感じました。生まれたところや生まれた時期が違ったら、今一緒にいる友だちと会えていないと考えると、一緒にいることもすごいことなんだと思いました。これからどう生きていくのか、しっかり考えていきたいと思いました。



私たちを産むまでに、お母さんは何時間も痛みに耐えて、がんばったことが分かりました。出産の時には高いリスクがあり、お母さんも私もきついで、それを乗り越えて生まれてすごく良かったと思います。私が、今存在していることに感謝しようと思いました。

中学生でも妊娠することもあるし、若年者の妊娠は身体的にも精神的にも経済的にもリスクが大きいことが分かりました。命を次の世代につなぐことは簡単ではないし、責任ある行動をしたいと思いました。